

令和5年度 総合計画事業の実施状況

平成26～令和5年度の10カ年を計画期間として平成26年度からスタートした第2次総合計画は、平成31年3月に見直しを行い、平成31～令和5年度を後期基本計画期間としました。令和5年度は第2次総合計画の最終年度となっており、実施計画ベースの決算額は約80億6,891万円でした。

なお令和5年度における総合計画事業の主な実施状況は次のとおりです。

▶企画政策課 ☎ 042-460-9800

行政関連情報の運営管理

情報システムの標準化に向けた取組のほか、AI-OCRやRPAを活用した業務の効率化を推進しました。

事業費 …………… 8億6,188万円

田無庁舎の改修

空調改修工事や防犯カメラの設置工事を実施するとともに、災害への備えとして、非常用自家発電設備の整備に向けた調査を実施しました。

事業費 …………… 1億1,749万円

防災・保谷保健福祉総合センター等の改修

旧保谷庁舎跡地を市民が憩える空間として整備し、一時開放しました。また安全性の向上のため、防犯カメラの設置工事を実施しました。

事業費 …………… 2,679万円

子どもの人権に関する取組

身近で気軽に相談できる環境を整えるため、LINEを利用した子ども専用相談窓口「いこいな窓口@西東京」を開設しました。

事業費 …………… 2,373万円

待機児童対策の推進

0歳児の空き定員をよりニーズの高い1歳児定員に振り替えた小規模保育事業所への補助を実施しました。

事業費 …………… 2,120万円

小・中学校校舎等大規模改造事業等の実施

小学校15校および中学校8校の体育館トイレにおいて、便器の洋式化、手洗いの自動水栓への取替などの改修を実施しました。

事業費 …………… 9,823万円

保谷こもれびホール施設の改修

メインホールの環境改善やトイレの洋式化工事を実施しました。

事業費 …………… 2億5,483万円

下野谷遺跡等を活用した魅力づくり

用地買収のほか、愛称板や防犯カメラの設置、VRの更新とともに、オープニングセレモニーや秋まつりなどを実施しました。

事業費 …………… 2億7,997万円

認知症の方への支援

西東京市医師会と連携し、もの忘れ予防検診の実施医療機関の拡大や認知症への理解促進、普及啓発を推進し、認知症支援の充実を図りました。

事業費 …………… 1,176万円

フレイル予防事業の推進

福祉会館などの身近な場所で気軽に体験できる環境整備や商業施設でのeスポーツ大会の開催などを行い、高齢者の社会参加の促進を図りました。

事業費 …………… 959万円

シニア人材が活躍できるまちの推進

シニア・プレシニアの方の多様な社会参加を進めるため、生涯現役応援サイト「ミーツ(meets)」を開設しました。

事業費 …………… 996万円

下保谷四丁目特別緑地保全活用事業の実施

下保谷四丁目特別緑地保全地区の日常的な施設開放に向けて、一般開放や四季折々のイベントを試行的に実施しました。

事業費 …………… 1,310万円

環境情報の提供および環境学習の実施

小学生向けの環境副読本を全面改訂した上で電子化するなど環境教育の充実を図りました。

事業費 …………… 448万円

地球温暖化対策事業の実施

環境チャレンジ、環境アワードなどの実施に加え、省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫、LED照明への買替え購入費の一部を助成しました。

事業費 …………… 1億2,839万円

西東京都市計画道路3・4・11号線の整備

伏見通りから保谷志木線までの未整備区間の物件等調査や用地買収などを行いました。

事業費 …………… 12億1,443万円

西東京都市計画道路3・4・24号線(田無駅南口交通広場)の整備

物件等調査や用地買収などを行うとともに、駅周辺の一体的な交通環境の整備に向けて街路部分の現地測量や概略設計などを実施しました。

事業費 …………… 5億4,426万円

市道の新設改良事業の実施

新設改良工事とともに、現道の無電柱化に向けて、田無庁舎北側の市役所通りの設計などを行いました。

事業費 …………… 9,820万円

緊急情報ネットワークの運用、整備

防災行政無線(同報系)の聞こえの改善を図るため、設備の一部更新を行いました。

事業費 …………… 1億7,834万円

雨水^{いっすい}溢水対策事業の推進

向台町四丁目地内などでの雨水対策工事を実施するとともに、北原町一丁目地内雨水対策基本設計、新町五丁目地内雨水対策実施設計を実施しました。

事業費 …………… 1億612万円

交通安全・自転車教室の実施

市内小学校において自転車安全教室を実施するとともに、着用が努力義務化された自転車用ヘルメットの購入に対する助成を行いました。

事業費 …………… 1,108万円

効果的な支援による農業経営意欲の促進

補助金制度を創設し、認定農業者等が行う施設整備などにより経営力強化を図る取組に対して補助を行うなど、農業者等への支援を実施しました。

事業費 …………… 1,769万円

商店街活性化推進事業の推進

イベントの開催を引き続き後押しするとともに、補助金制度を創設し、市内商店街における防犯カメラの整備に対して補助を行いました。

事業費 …………… 3,278万円

「西東京市第4次行財政改革大綱」の実施状況

「西東京市第4次行財政改革大綱」は、平成26年度から令和5年度までの10年間を計画期間として、行財政運営の自立性・持続性を確立し、必要とされるサービスを確実に提供できる体制を目指して取り組んできました。令和5年度における財政効果の概要は下表のとおりです。▶企画政策課 ☎ 042-460-9800

第4次行財政改革大綱の財政効果額一覧

アクションプランの実施体系	令和5年度効果額	主な取組項目
I 経営の発想に基づいた将来への備え	-	
II 選択と集中による適正な行政資源の配分	1億2,754万円	
戦略的な行政資源の活用	1億2,075万5千円	行政評価の効果的運用/予算編成業務改革
固定的な経費の削減	87万3千円	庁用車の保有台数の削減/自転車等保管所の集約化
補助金・負担金の適正化	591万2千円	補助金・負担金の見直し
III 効果的なサービス提供の仕組みづくり	1億2,855万9千円	
民間活力の活用促進	1億2,855万9千円	公民連携事業の推進/保育園の運営体制の見直し
IV 安定的な自主財源の確保	1億6,915万6千円	
市有財産の有効活用による歳入の確保	1億5,322万2千円	未利用市有地などの処分・有効活用/自転車駐車場の管理運営体制の見直し/市有財産の有効活用
新たな歳入項目の創出	1,593万4千円	有料広告の有効活用/寄附金制度などの有効活用
その他	1億4,101万1千円	各種事務機器類の再リース
合計	5億6,626万6千円	